

記者発表：徳島県政記者クラブ

令和3年11月17日
四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

小学生の皆さんが徳島の港や海の環境を守る取組みについて学習します！ ～オーシャン東九フェリーや海のお掃除船「みずき」の船内見学、海上からのみなど見学も行います～

小松島港湾・空港整備事務所では、私たちの暮らしを支える港湾や空港の整備のほか、海の安全と環境を守るため、海洋環境整備船「みずき」による海面浮遊ゴミの回収活動を日々行っています。このたび、鳴門市林崎小学校5年生の皆さんを対象に出前講座を実施します。本講座では、座学による学習と併せて、徳島市に就航する「オーシャン東九フェリー」や海のお掃除船「みずき」の船内見学、港湾業務艇「ひのみね」による海上からのみなど見学を行い、港や海を肌で感じることで、学校の授業や座学で学んだ港湾整備や海洋環境保全への理解を深めます。

当事務所では、安全で利便性の良い港を目指した港湾整備や、海洋環境整備船「みずき」の担務海域において、船舶の安全な航行や海洋環境に支障を来す恐れがある海面浮遊ゴミの回収に日々取り組んでいます。また徳島小松島港に就航するオーシャン東九フェリーは、当フェリーの特徴である「シャーシ無人航送」(*)を活かし、県内外企業の製品等を東京・北九州方面に輸送しており、県内の国内物流拠点として重要な役割を担っています。

一方、鳴門市林崎小学校では、学校の社会科授業において、港を活用した物流や港を利用する船舶、環境問題などについて学んでいます。

本講座において、港湾整備や海洋環境保全の必要性・重要性、徳島の港の役割や物流、近年の海洋ゴミなどの環境問題への理解を深めるとともに、地元徳島の港の存在が生徒の皆さんの生活にどのように関わっているのかを学習していただきます。

※「シャーシ無人航送」とは、ドライバーは乗船せず、企業製品等が積込まれた貨物シャーシのみをフェリーで輸送することであり、人件費削減、労働時間短縮、環境負荷低減に繋がることから近年注目されています。

日時：令和3年11月24日(水)
(当日の予定スケジュール)

※当日は4班に分かれて学習、下記スケジュールはある1班の例です

09:40~10:20	【見学】①オーシャン東九フェリー船内見学
10:20~11:00	【移動】徳島小松島港沖洲(外)地区(徳島市) →徳島小松島港本港地区(小松島市)
11:00~11:30	【座学】②港や船の役割の学習(小松島みなと合同庁舎3F)
11:30~12:00	【映像】③みなど学習DVD上映(小松島みなと合同庁舎3F)
12:00~12:30	【見学】④海洋環境整備船「みずき」船内見学(新港物揚場)
12:30~13:00	【体験】⑤港湾業務艇「ひのみね」体験乗船(新港物揚場)
13:00	体験学習終了、解散

場所：〒773-0001 徳島県小松島市小松島町字外開1-11 小松島みなと合同庁舎ほか
(※詳しくは別紙2参照)

注意事項：○当日の気象状況等により、実施内容を変更する場合があります。

○スケジュールは、多少時間が前後する可能性があります。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日はマスク着用をお願いいたします。

また、ご来場いただく前に検温していただき、37.5度以上の発熱、風邪症状(咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ(倦怠感)等)、体調不良が認められる場合は参加をご遠慮願います。なお、マスコミ関係者の人数調整等を行う場合があります。

【取材申込】取材を希望される方は下記メール又はFAXで別紙申込様式にてお申込みください。
なお、申込期限を11月22日(月)17時迄とさせていただきます。
また、会場までの移動については各自で対応をお願いいたします。

【問い合わせ先】 ○：主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

副 所 長 岩本 英浩

○企画調整課長 六車 晋助

TEL：0885-32-3855 FAX：0885-35-0010

メール：pa.skr-kmjm-i88s3@mlit.go.jp



提供：オーシャントランス株式会社
オーシャン東九フェリー



海洋環境整備船「みずき」



港湾業務艇「ひのみね」

小松島港湾・空港整備事務所

企画調整課 宛 (FAX : 0885-35-0010)

取材申込書

※中止時には記載のご連絡先に連絡致します。

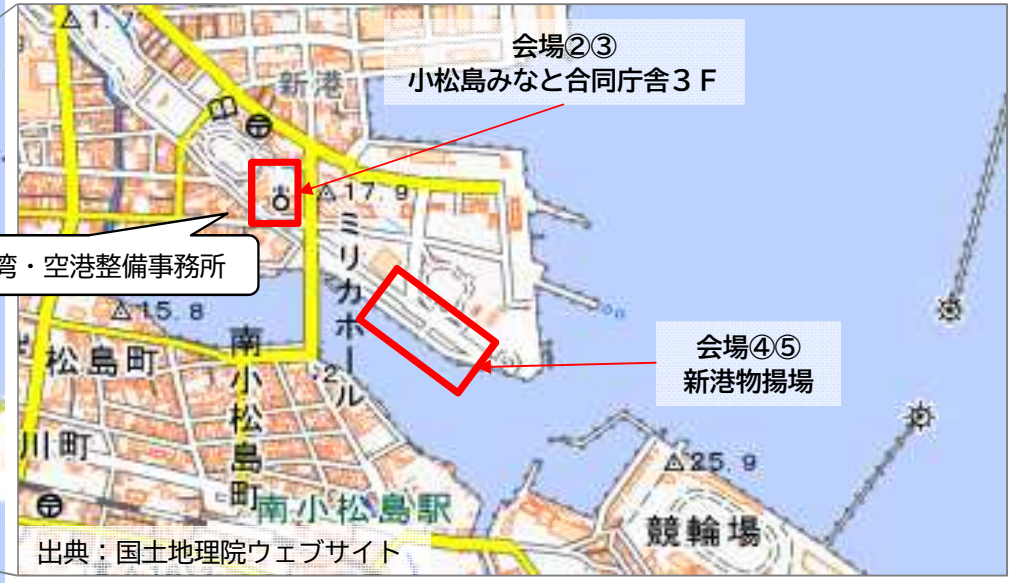
11月22日(月) 17時までにメール又はFAXで申込みください。

貴社名		
連絡先	TEL :	FAX :
代表者		
取材者		
連絡事項 など		

※メールでのお申込みの場合は上記事項をメールに記入していただき、メール送信にてお申込みをお願い致します。(メール : pa.skr-kmjm-i88s3@mlit.go.jp)

開催場所 位置図

別紙 2



出典：国土地理院ウェブサイト

出典：国土地理院ウェブサイト

港湾業務艇「ひのみね」

別紙3



S H I P - D a t a

総トン数：19GT

最大航海速力：26.3ノット

最大搭載人員：20名

全長16.7m/型幅4.2m/型深さ2.0m/喫水：0.62m

建造：平成28年7月

船籍：小松島市

所属：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

～「ひのみね」のお仕事～

小松島港湾・空港整備事務所の3代目の港湾業務艇。

海底の地形が一目でわかる探査装置が設置されています。この装置により、災害時でもすぐに被災現場の海中の状況を確認することができるので、緊急物資輸送の海上輸送などにおいて活躍が期待されています。

日頃は、港湾工事のための測量を行ったり、海上の工事現場への輸送などを行っています。



海面清掃兼油回収船「みずき」

別紙4



S H I P - D a t a

総トン数：154GT
最大航海速力：14.65ノット
全長29.5m/全幅11.6m/深さ3.8m/喫水2.1m
装備：塵芥コンテナ2基、多関節クレーン（チェーンソー付）1基、
放水銃2基、ダビットクレーン1基
建造：平成10年1月
船籍：小松島市
所属：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

～「みずき」の仕事～

小松島港湾・空港整備事務所の2代目の「海のお掃除船」

紀伊水道西部海域と播磨灘南部海域の安全と環境を守るために、海に浮かんでいるゴミや油の回収を行っています。特徴は、大きな流木を素早く処理するために、船に装備されているクレーンで流木をつかみ、チェーンソーにより切断して回収することができます。

平成23年3月の東日本大震災の際には、宮城県仙台塩釜港沖まで遠征し、津波で流れ出たゴミの回収を行い、活躍しました！

平成28年7月からは、担当している海域に”緊急確保航路”が指定されたことで、災害時の海上物資輸送ルートを早期に確保するための取り組みを行っています。

緊急確保航路とは・・・東日本大震災では発生した津波により、大量の貨物が流出し、航路を塞いだことで、緊急物資輸送船をはじめとする船舶の航行が、困難となりました。この教訓を踏まえ、平成25年6月に港湾法が改正され、非常災害時に港湾に至る船舶の交通が困難となる恐れのある水域について、緊急確保航路として指定することとなりました。災害が発生した際には、国が緊急確保航路において迅速に啓開作業を行うこととしています。

